

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 令和3年3月1日発送
令和3年3月10日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 473 企業(回答率 31.5%)

※ 当期: R03年1月～3月実績見込
次期: R03年4月～6月期予測

【DI値について】

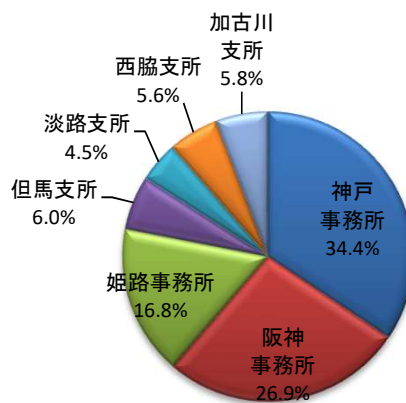
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

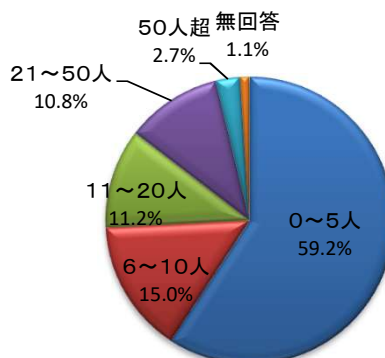
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	160	34.4%
阪神事務所	125	26.9%
姫路事務所	78	16.8%
但馬支所	28	6.0%
淡路支所	21	4.5%
西脇支所	26	5.6%
加古川支所	27	5.8%
小計	465	100.0%
地域不明・無回答	8	-
合計	473	-



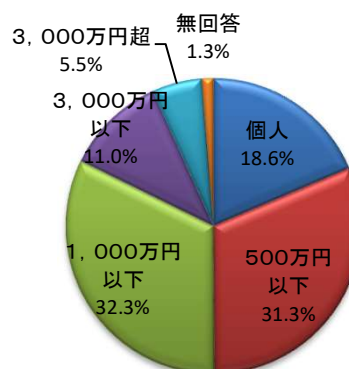
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	280	59.2%
6～10人	71	15.0%
11～20人	53	11.2%
21～50人	51	10.8%
50人超	13	2.7%
無回答	5	1.1%
合計	473	100.0%



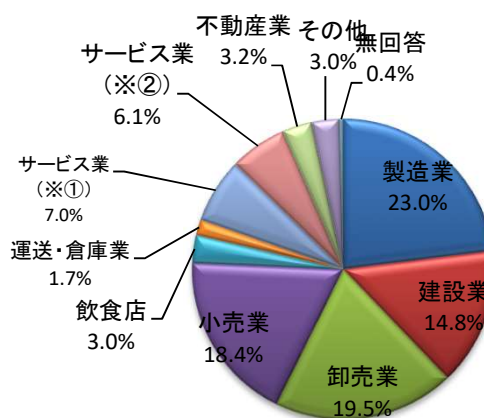
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	88	18.6%
500万円以下	148	31.3%
1,000万円以下	153	32.3%
3,000万円以下	52	11.0%
3,000万円超	26	5.5%
無回答	6	1.3%
総計	473	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	109	23.0%
建設業	70	14.8%
卸売業	92	19.5%
小売業	87	18.4%
飲食店	14	3.0%
運送・倉庫業	8	1.7%
サービス業(※①)	33	7.0%
サービス業(※②)	29	6.1%
不動産業	15	3.2%
その他	14	3.0%
無回答	2	0.4%
合計	473	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

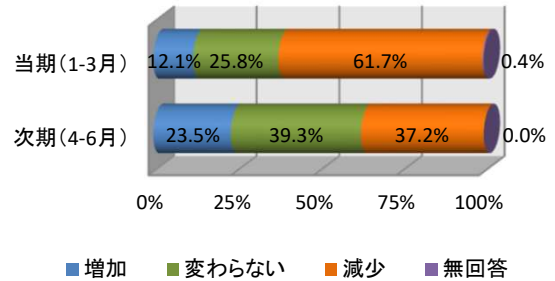
II. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(21年1~3月期)は、前期(20年10~12月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(21年4~6月期)は、当期(21年1~3月期)に比べどう思いますか。

【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	57	12.1%
変わらない	122	25.8%
減少した	292	61.7%
無回答	2	0.4%
総計	473	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	111	23.5%
変わらないと思う	186	39.3%
減少すると思う	176	37.2%
無回答	0	0.0%
総計	473	100.0%

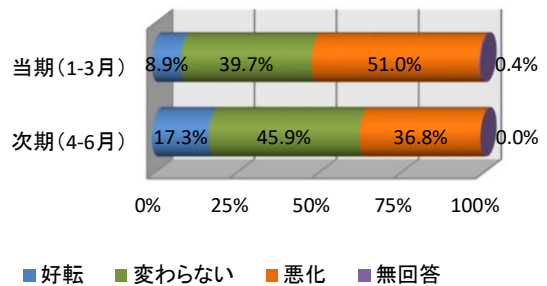
生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 15.8	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 11.9	▲ 36.9	▲ 72.3	▲ 43.9	▲ 36.6	▲ 49.7	▲ 13.7

【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	42	8.9%
変わらない	188	39.7%
悪化した	241	51.0%
無回答	2	0.4%
総計	473	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	82	17.3%
変わらないと思う	217	45.9%
悪化すると思う	174	36.8%
無回答	0	0.0%
総計	473	100.0%

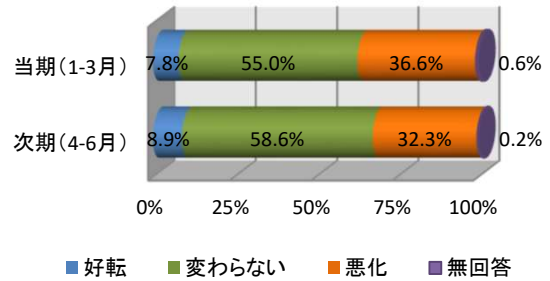
採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 15.9	▲ 12.2	▲ 36.6	▲ 67.3	▲ 40.4	▲ 35.6	▲ 42.1	▲ 19.5

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	37	7.8%
変わらない	260	55.0%
悪化した	173	36.6%
無回答	3	0.6%
総計	473	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	42	8.9%
変わらないと思う	277	58.6%
悪化すると思う	153	32.3%
無回答	1	0.2%
総計	473	100.0%

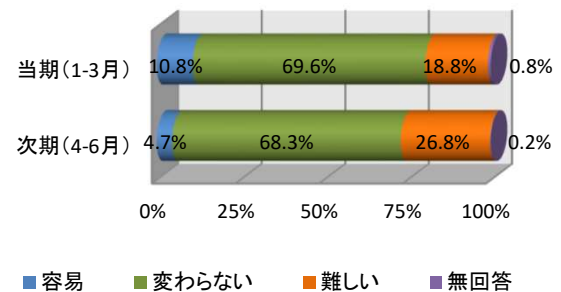
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 8.5	▲ 24.9	▲ 49.0	▲ 21.8	▲ 21.9	▲ 28.8	▲ 23.5

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	51	10.8%
変わらない	329	69.6%
難しくなった	89	18.8%
無回答	4	0.8%
総計	473	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	22	4.7%
変わらないと思う	323	68.3%
難しくなると思う	127	26.8%
無回答	1	0.2%
総計	473	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

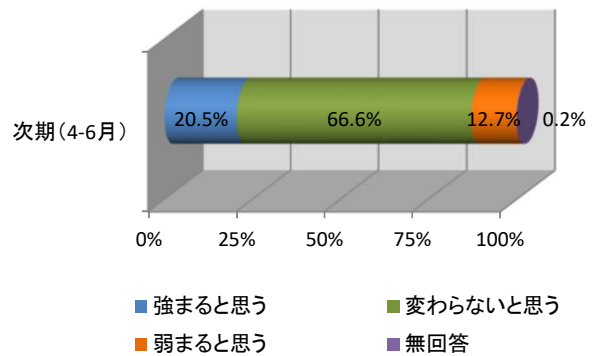
調査時期(実績)	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月(見込み)
兵庫県	▲ 2.4	▲ 0.9	▲ 5.6	▲ 0.9	▲ 10.6	▲ 1.8	5.5	▲ 0.6	▲ 8.0	▲ 22.2

当期(1-3月)のDI値については、全ての項目において、前回調査(10-12月)に比べ悪化しました。次期(4-6月)のDI値については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において、当期(1-3月)に比べ改善し、「借入難易感」の項目において、当期(1-3月)に比べ悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	97	20.5%
変わらないと思う	315	66.6%
弱まると思う	60	12.7%
無回答	1	0.2%
総計	473	100.0%



信用保証付要請DI(強まる-弱まる)

調査時期 (見込み)	2018年 10~12月 (1~3月)	2019年 1~3月 (4~6月)	2019年 4~6月 (7~9月)	2019年 7~9月 (10~12月)	2019年 10~12月 (1~3月)	2020年 1~3月 (4~6月)	2020年 4~6月 (7~9月)	2020年 7~9月 (10~12月)	2020年 10~12月 (1~3月)	2021年 1~3月 (4~6月)
兵庫県	7.8	4.3	7.7	4.7	4.3	7.6	6.3	4.1	7.8	7.8

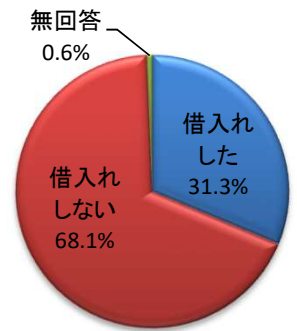
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(21年1～3月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	21年1～3月期		20年10～12月期	20年7～9月期	20年4～6月期	20年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	148	31.3%	38.2%	51.7%	57.8%	26.8%
借入れしない	322	68.1%	58.6%	46.6%	40.7%	71.5%
無回答	3	0.6%	3.2%	1.8%	1.5%	1.6%
総計	473	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

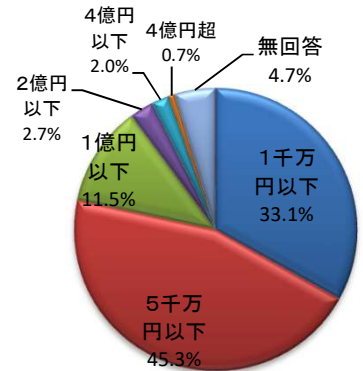
当期の借入れは、前回調査と比べ、6.9ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	21年1～3月期		20年10～12月期	20年7～9月期	20年4～6月期	20年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	49	33.1%	34.2%	29.8%	36.6%	46.5%
5千万円以下	67	45.3%	46.3%	49.1%	46.1%	35.4%
1億円以下	17	11.5%	8.4%	11.3%	10.4%	7.1%
2億円以下	4	2.7%	2.6%	3.4%	3.5%	3.0%
4億円以下	3	2.0%	2.6%	2.3%	0.9%	2.0%
4億円超	1	0.7%	2.1%	0.4%	0.3%	1.0%
無回答	7	4.7%	3.7%	3.8%	2.3%	5.1%
総計	148	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

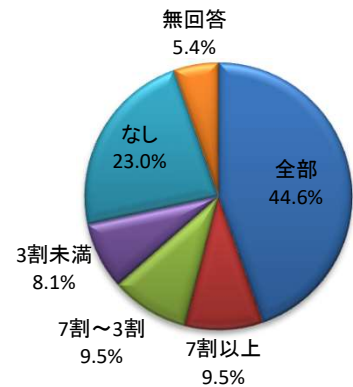
当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が78.4%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

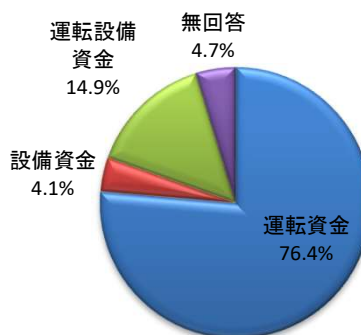
選択肢	21年1～3月期		20年10～12月期	20年7～9月期	20年4～6月期	20年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	66	44.6%	38.4%	45.3%	47.3%	40.4%
7割以上	14	9.5%	8.9%	7.9%	6.9%	14.1%
7割～3割	14	9.5%	16.3%	18.1%	18.2%	8.1%
3割未満	12	8.1%	5.8%	4.2%	3.2%	3.0%
なし	34	23.0%	24.7%	19.2%	19.3%	31.3%
無回答	8	5.4%	5.8%	5.3%	5.2%	3.0%
総計	148	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が6.2ポイント増加し、「7割～3割」とする回答が6.8ポイント減少しました。



当期借入金の目的は何ですか。

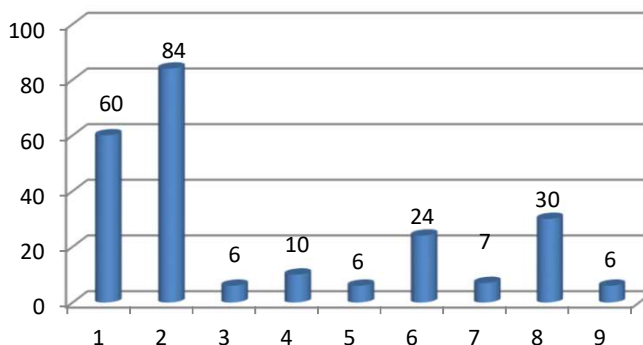
選択肢	回答数	構成比
運転資金	113	76.4%
設備資金	6	4.1%
運転設備資金	22	14.9%
無回答	7	4.7%
総計	148	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

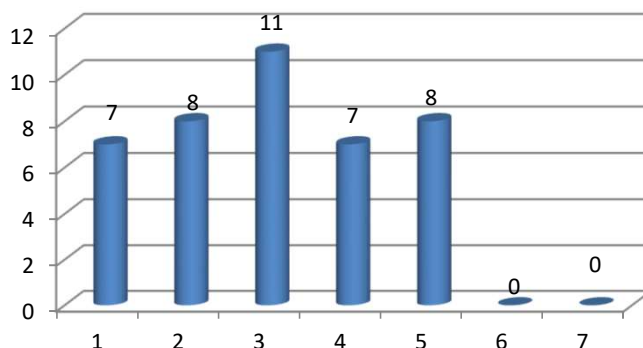
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	60
2 売上減少・赤字補填	84
3 過剰在庫対応	6
4 支払条件短縮対応	10
5 回収条件悪化対応	6
6 売上増加運転資金	24
7 在庫積み増し	7
8 季節運転資金	30
9 その他	6
総計	233



運転資金の種類は、「売上減少・赤字補填」が最も多く、次いで「既往借入の借換え」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

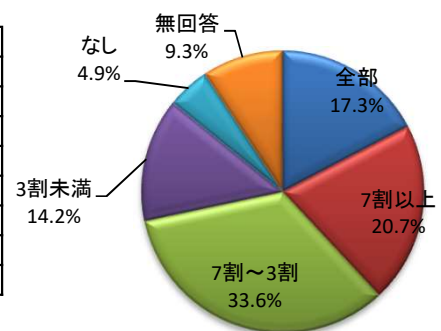
選択肢	回答数
1 新規事業	7
2 生産増強	8
3 合理化・効率化	11
4 設備老朽化に伴う入替	7
5 修理・修繕	8
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	0
総計	41



設備資金の種類は、「合理化・効率化」が最も多く、次いで「生産増強」「修理・修繕」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(21年3月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

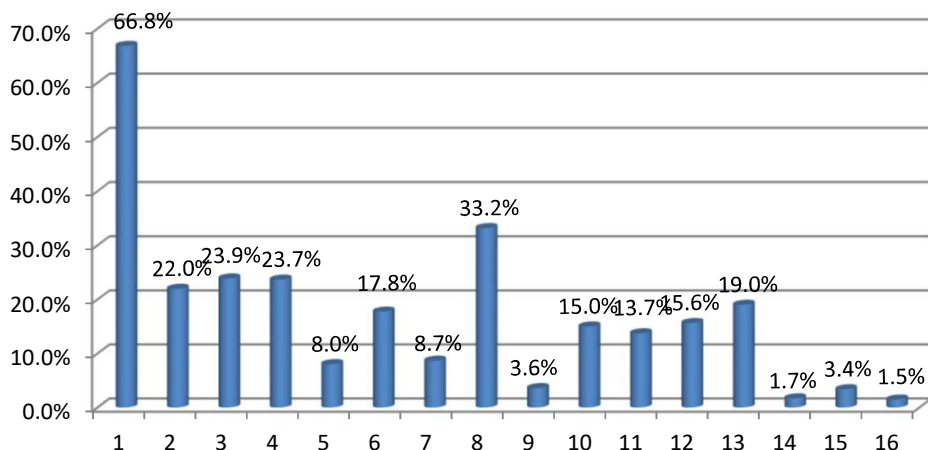
選択肢	21年1～3月期		20年10～12月期	20年7～9月期	20年4～6月期	20年1～3月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	82	17.3%	15.5%	17.2%	19.0%	21.4%
7割以上	98	20.7%	20.7%	20.3%	17.3%	22.0%
7割～3割	159	33.6%	38.4%	33.5%	31.3%	30.1%
3割未満	67	14.2%	13.1%	14.6%	13.7%	16.0%
なし	23	4.9%	5.4%	5.1%	5.0%	4.9%
無回答	44	9.3%	6.8%	9.4%	13.7%	5.7%
総計	473	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「3割未満」とする割合が増加し、「7割～3割」「なし」とする割合が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	316	66.8%	9 過剰在庫	17	3.6%
2 競争激化	104	22.0%	10 設備投資	71	15.0%
3 コスト高	113	23.9%	11 後継者難	65	13.7%
4 業界構造変化	112	23.7%	12 資金調達	74	15.6%
5 取引条件の悪化	38	8.0%	13 借入過多	90	19.0%
6 消費者ニーズの多様化	84	17.8%	14 為替	8	1.7%
7 技術・商品開発	41	8.7%	15 海外景気の減速	16	3.4%
8 人材・労働力の確保	157	33.2%	16 その他	7	1.5%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」「コスト高」が上位となっています。
 次いで、「業界構造変化」「競争激化」「借入過多」の順となっています。

